

### 3.5 人口、家屋数、土地利用、水環境の現状と見通し

生活排水処理基本計画等の見直しにあたり、その地域の特徴を十分に把握すること及び本計画における各種検討に用いる計画値を設定するため、次の項目について、調査・整理を行う。

#### 【調査項目】

- (1) 人口、家屋数の現状と見通し
- (2) 土地利用の現状と見通し
- (3) 水環境の現状と見通し

#### 3.5.1 人口、家屋数

人口、家屋数の現状と見通しについて、次の資料の整理を行う。

#### 【人口・家屋数 調査資料】

- ① 国勢調査、住民基本台帳等(町丁目、字界等単位の人口・世帯数が確認できる資料)
- ② 市町村長期総合計画
- ③ その他(埼玉県策定の計画値等)

住民基本台帳による過去10ヵ年における各年3月末日現在の行政人口、世帯数(家屋数)、世帯人員の推移を表3.5.1及び図3.5.1に示す。

過去10ヵ年における推移は下記のような傾向にある。

- 行政人口 : 微減
- 世帯数 : 微増
- 世帯人員 : 減少

また、直近の国勢調査(令和2年10月1日)における行政人口・世帯数は、同年度末の住民基本台帳(令和3年3月31日)と比較して、人口で約360人、世帯数で約1,200世帯の相違がある。

表 3.5.1 行政人口、世帯数、世帯人員の推移

年度	行政人口		世帯数 (世帯)		世帯人員 (人/世帯)	
	行政人口	増減	世帯数	増減	世帯人員	増減
平成27年度	31,386	-	12,931	-	2.43	-
平成28年度	30,982	-404	12,974	43	2.39	-0.04
平成29年度	30,474	-508	13,003	29	2.34	-0.04
平成30年度	29,938	-536	12,980	-23	2.31	-0.04
令和元年度	29,471	-467	13,040	60	2.26	-0.05
令和2年度	28,886	-585	12,982	-58	2.23	-0.03
令和3年度	28,494	-392	13,008	26	2.19	-0.03
令和4年度	28,046	-448	13,037	29	2.15	-0.04
令和5年度	27,774	-272	13,147	110	2.11	-0.04
令和6年度	27,290	-484	13,098	-49	2.08	-0.03
R2国勢調査	28,524		11,781		2.42	

(出典) 令和2年国勢調査  
町別人口統計 (各年3月末現在)

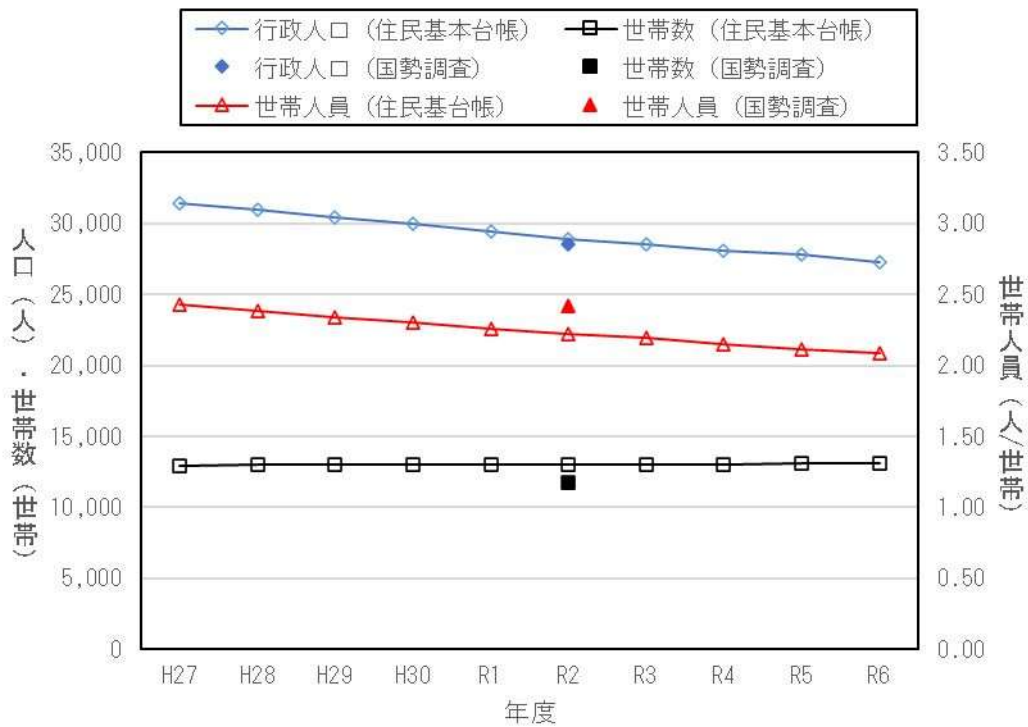


図 3.5.1 行政人口、世帯数、世帯人員の推移

### 3.5.2 土地利用

土地利用の現状と見通しについて、次の事項について調査を行う。

【土地利用 調査項目】

- ① 町丁目、字界等(人口・世帯数の地区別推計単位に整理)
- ② 都市計画区域、市街化区域、市街化調整区域、用途地域、農業振興地域
- ③ 主要な公共施設計画(建築用途、規模等)
- ④ 主要な開発計画(開発の種別、時期、規模等)

本町の土地利用状況は表 3.5.2 のとおりである。前回計画の市街化区域面積及び用途地域面積は 12 用途のうち 9 用途の指定がされ計 553.4ha となっており、平成 20 年 3 月に用途地域面積の内訳が変更されている。

用途地域図を図 3.5.2 に示す。

表 3.5.2 小川町の土地利用の現況

単位：ha

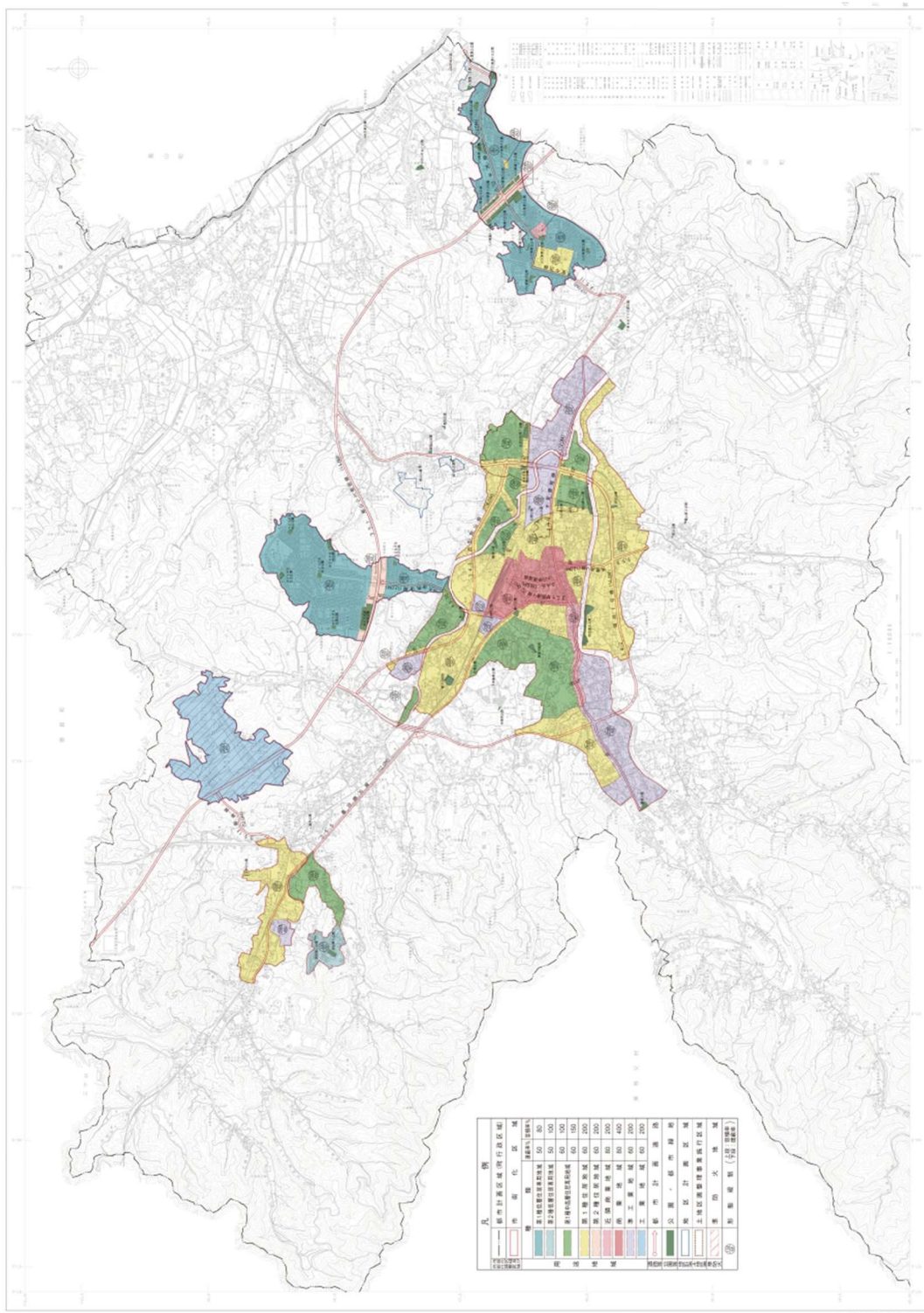
用途区分	用途地域	備考
第1種低層住専	122.7	
第2種低層住専	6.0	
第1種中高層住専	76.4	
第2種中高層住専	0.0	
第1種住居	186.6	
第2種住居	11.5	
準住居	0.0	
近隣商業	6.9	
商業	27.0	
準工業	67.0	
工業	49.3	
工業専用	0.0	
計	553.4	

(出典) 市野川流域関連小川公共下水道 全体計画説明書(令和7年3月)

本町の農業振興地域は、市街化区域および山間部・湖沼等を除く範囲で設定されている。また、町の北東部を中心に、農用地区域が指定されている。

本町の農業振興地域および農用地区域の位置を図 3.5.3 に示す。

小川町都市計画図

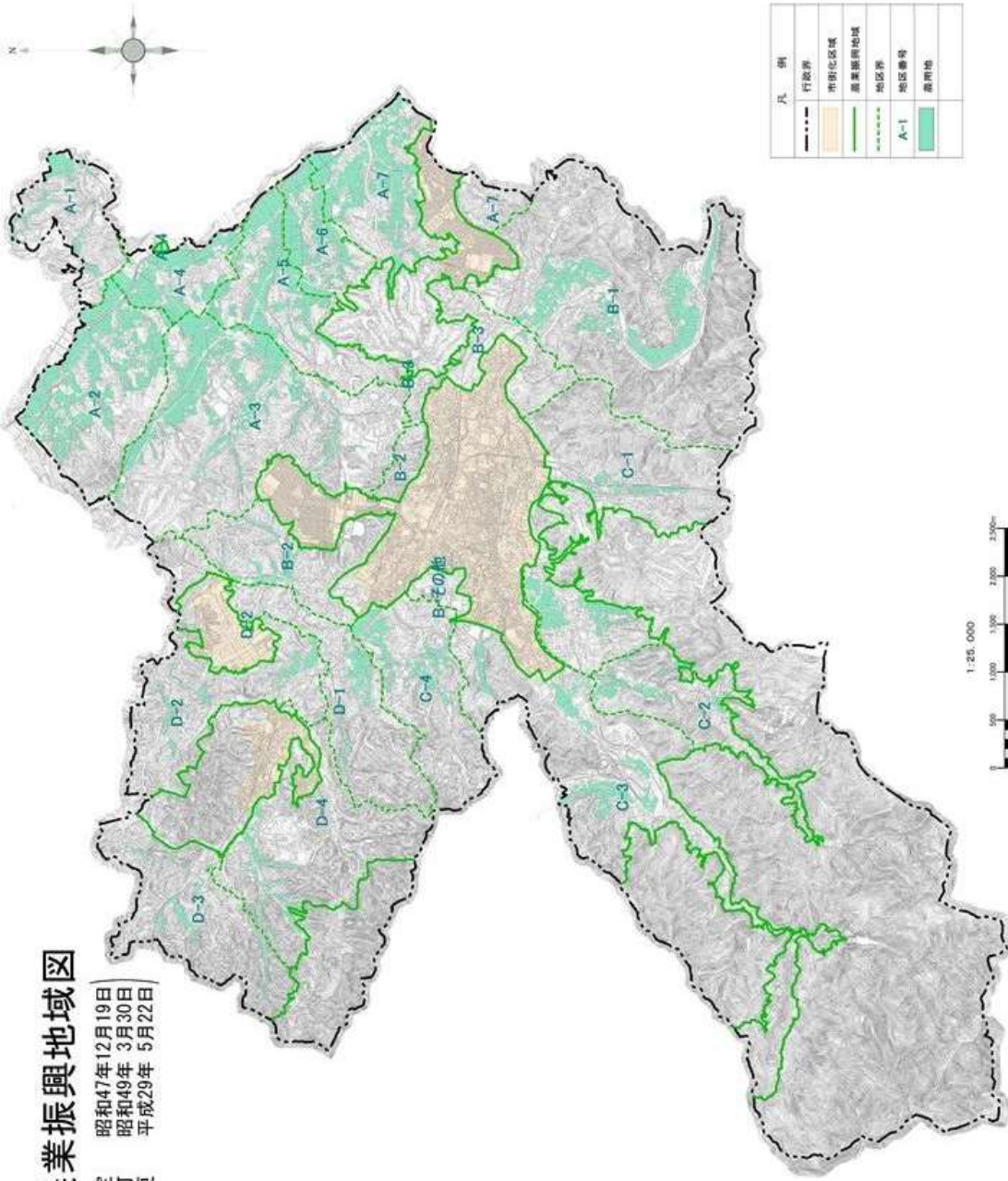


(出典) 町資料

図 3.5.2 小川町都市計画図

# 小川農業振興地域図

地域指定 昭和47年12月19日  
 計画認可 昭和49年 3月30日  
 変更 平成29年 5月22日



(出典) 町資料

図 3.5.3 小川農業振興地域図

### 3.5.3 水環境

公用水域の水質及び水利用等の水環境の現状と見通しを把握し、水質保全の面から生活排水処理の整備手法を検討する場合に活用する。

なお、R7 県マニュアルの第 1 章に埼玉県全体における水環境の現状が示されている。本構想では県全体での状況を踏まえて、小川町の水環境の現状について整理を行う。また水環境の見通しについてもできるかぎり整理を行う。

#### 【水環境 調査項目】

- ① 水質経年変化
- ② 環境基準に掲げられている水質項目
- ③ 水利権(水道用水、工業用水、農業用水等)
- ④ 取水量・取水地点
- ⑤ その他水利用(漁業、親水利用等)

#### 1) 河川環境基準点

本町の河川環境基準点は槻川の兜川合流点前であり、この下流の都幾川合流地点まで環境基準 B 類型であり、都幾川合流地点より下流は環境基準 A 類型に指定されている。

また、小川町が関連する市野川流域下水道の処理場「市野川水循環センター」の放流先は市野川であり、放流先に係わる水域は環境基準 B 類型に指定されている。

県内の河川状況を図 3.5.4 に示す。



2) 水質の状況

過去5年間（令和元年～令和5年度）における水質測定結果を表3.5.3示す。

全ての環境基準点で環境基準を満足している。しかし、市野川上流のBOD75%値は年々増加傾向にあり、令和5年度には2.9mg/Lまで増加している。

表 3.5.3 本町の河川水質測定結果

水域名	環境基準点		類型	BOC75%値 (mg/L)					基準値
	地点名	市町		R元	R2	R3	R4	R5	
都幾川	東松山橋	東松山市	A	1.1	< 0.5	0.6	0.7	0.9	2mg/L以下
槻川	兜川合流点前	小川町	B	0.9	0.7	0.9	0.8	0.8	3mg/L以下
市野川上流	天神橋	東松山市	B	1.8	2.0	2.0	2.6	2.9	3mg/L以下

(出典)埼玉県環境部 公共用水域及び地下水の水質測定結果 (R7.3)